

大学改革支援・学位授与機構が行う  
大学機関別認証評価における学習支援の扱い  
～ 教育課程と学生支援の間～

土屋俊

大学改革支援・学位授与機構

2017年度第5回千葉大学 ALPS セミナーにて  
2018年3月9日

# 目次

- 1 (しなくてもいい) 言い訳
- 2 大学設置基準は「教育・学修支援」なんか求めているない
- 3 にもかかわらず、大学は(ちょっと) 血道をあげている
- 4 ということで、当機構 3 巡目にあたっては(ちょっと) 真面目に考えた

# 言い訳

- 他2機関は、平成30年度(2018年度)から新基準で評価。しかし、大学改革支援・学位授与機構は平成31年度(2019年度)から
- したがって、本日の段階では、まだ届出前なので、本当は新基準を話せない(のかもしれない)
- 「優れた点」を紹介するが、認証評価は、そもそもの目的は最低限の基準を満たしているか否かを判定すること。したがって、「優れている」という判断は、本当はついでである。そのために、評価者によって判断は分かれがち
- とはいうものの、それなりの参考にはなる

# 大学設置基準のどこにあるの?(1)

(事務組織)

第四十一条 大学は、その事務を遂行(改正によって「処理」から変更)するため、専任の職員を置く適当な事務組織を設けるものとする。

(厚生補導の組織)

第四十二条 大学は、学生の厚生補導を行うため、専任の職員を置く適当な組織を設けるものとする。

(社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制)

第四十二条の二 大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

## 大学設置基準のどこにあるの?(2)

(研修の機会等)

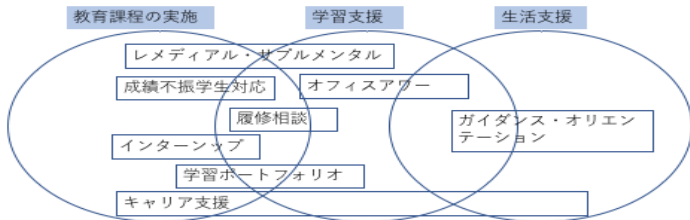
第四十二条の三 大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第二十五条の三に規定する研修に該当するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第二十五条の三 大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

## どんなことが「学習支援」？

- これまでは「学生部 = 教務課 + 学生課」的であった
  - ▶ ガイダンス・オリエンテーション
  - ▶ オフィスアワー
  - ▶ 補習教育、補充教育、成績不振学生対応
  - ▶ 正課外教育、インターンシップ
  - ▶ 特別な配慮を必要とする学生 (障害のある学生・留学生・社会人学生) に対する支援
- しかし、生活支援や教育課程とのグレイゾーン



## ということで、当機構3巡目では

- 基準 6 - 1 学位授与方針が具体的かつ明確であること
- 基準 6 - 2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること
- 基準 6 - 3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること
- 基準 6 - 4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること
- 基準 6 - 5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること
- 基準 6 - 6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
- 基準 6 - 7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること
- 基準 6 - 8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

## しかし、学習支援は全学的事業?

- 学習支援事業は「学生部」的発想から全学的事業として位置づけられている
- しかし、学生の就学の目的は、(一応)知識・能力の獲得のはず
- したがって、学位授与の方針が出発点のはず
- となると、学習支援はカリキュラムに対する相対性をもつのはず
- つまり、「ジェネリックな」学習支援はそもそも可能?



The new education isn't simply a change in curriculum or implementation of a new kind of pedagogy. It 's not just a course or a program. It is all of the above, undergirded by a new epistemology, a theory of knowledge that is deep, synthetic, active, and meaningful, with real impact in the world. In the end, the new education is also a verb, one that empowers our students with better ways to live and thrive in a complicated world. (Davidson, Cathy N.. *The New Education: How to Revolutionize the University to Prepare Students for a World In Flux* (p. 161). Basic Books. Kindle Edition.